

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|----------|---------|------------------|
| 旅費 | 453 | 職員業務旅費 |
| 委託料 | 261,355 | 指定管理料、収蔵庫作品等移設 |
| 使用料及び賃借料 | 1,500 | 収蔵庫作品等の倉庫借上げ料 |
| 負担金 | 10,000 | 飛騨センター活用推進協議会負担金 |
| 合計 | 273,308 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

(2) 事業主体及びその妥当性

指定管理者が有する能力を活用して住民サービスの向上を図るとともに、施設利用者の利便性を確保しつつ施設設備の維持管理等に係る経費の節減を図ることが可能であるため、飛騨センターの維持管理を指定管理者が行うことは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

民間の能力を活用しつつ、施設のもつポテンシャルを最大限活用できる方策を見出し、施設の有効活用・運営改善を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R5年度 実績 | R6年度 目標 | R7年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

当該施設は、現時点で新たな活用策が未定であることから、管理運営経費の指標を設定することは困難。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|---|
| 令和 4 年度 | <p>飛騨センターの管理等に関する以下の業務を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に関する業務（コンベンションホール、芸術堂、会議室の貸館業務等） ・施設及び設備の維持管理業務（保守点検、清掃、警備、緑地管理等） ・県民文化の振興に関する業務（各種イベント、コンサート等の自主企画事業） <p>生活文化を中心とした県民の文化活動及び交流の場を提供するとともに、県民ニーズに応じた良質なサービスを提供することにより、県民文化の振興や地域社会の活性化に寄与する。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p> |
| 令和 5 年度 | <p>飛騨センターの管理等に関する以下の業務を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に関する業務（コンベンションホール、芸術堂、会議室の貸館業務等） ・施設及び設備の維持管理業務（保守点検、清掃、警備、緑地管理等） ・県民文化の振興に関する業務（各種イベント、コンサート等の自主企画事業） <p>生活文化を中心とした県民の文化活動及び交流の場を提供するとともに、県民ニーズに応じた良質なサービスを提供することにより、県民文化の振興や地域社会の活性化に寄与する。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p> |
| 令和 6 年度 | <p>飛騨センターの管理等に関する以下の業務を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に関する業務（コンベンションホール、芸術堂、会議室の貸館業務等） ・施設及び設備の維持管理業務（保守点検、清掃、警備、緑地管理等） ・県民文化の振興に関する業務（各種イベント、コンサート等の自主企画事業） <p>生活文化を中心とした県民の文化活動及び交流の場を提供するとともに、県民ニーズに応じた良質なサービスを提供することにより、県民文化の振興や地域社会の活性化に寄与する。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) - | 施設利用の状況や、近隣の類似施設の状況、毎年の運営管理費や今後予定される相当程度の大規模修繕費等の財政負担等を勘案し、これまでの文化施設の枠にとらわれず、飛騨地域の賑わい創出や課題解決に資する有効な活用策を検討することとしている。 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 3 | 令和6年度までは、現行の仕様のもとでの文化施設としての指定管理について、外部の専門家等で構成する評価員会議において高い評価をいただいている。 |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 2 | 令和7年度の指定管理料相当額(管理運営コスト)は指定管理制度導入以前と比較すると136,113千円削減されている。 |

(今後の課題)

| | |
|---|--|
| ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設利用状況や毎年の運営管理費、今後予定される相当程度の大規模修繕費等の財政負担等を勘案し、これまでの文化施設の枠にとらわれず、有効な活用策を検討する必要がある。 | |
|---|--|

(次年度の方向性)

| | |
|--|--|
| ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 文化施設の枠にとらわれず、飛騨地域の賑わい創出や課題解決に資する有効な活用策を検討することとし、現在、広く民間から施設活用のアイデアを募るためサウンディング型市場調査を実施中。調査結果や県の財政的見地、地元自治体や関係者の意向等を踏まえ、今後のあり方を検討していく。 | |
|--|--|